

東日本大震災からの復旧・復興に係る派遣業務報告

令和2年 9月8日

伊勢農林水産事務所 農村基盤室

八田 史人

1. 派遣の概要

派遣期間

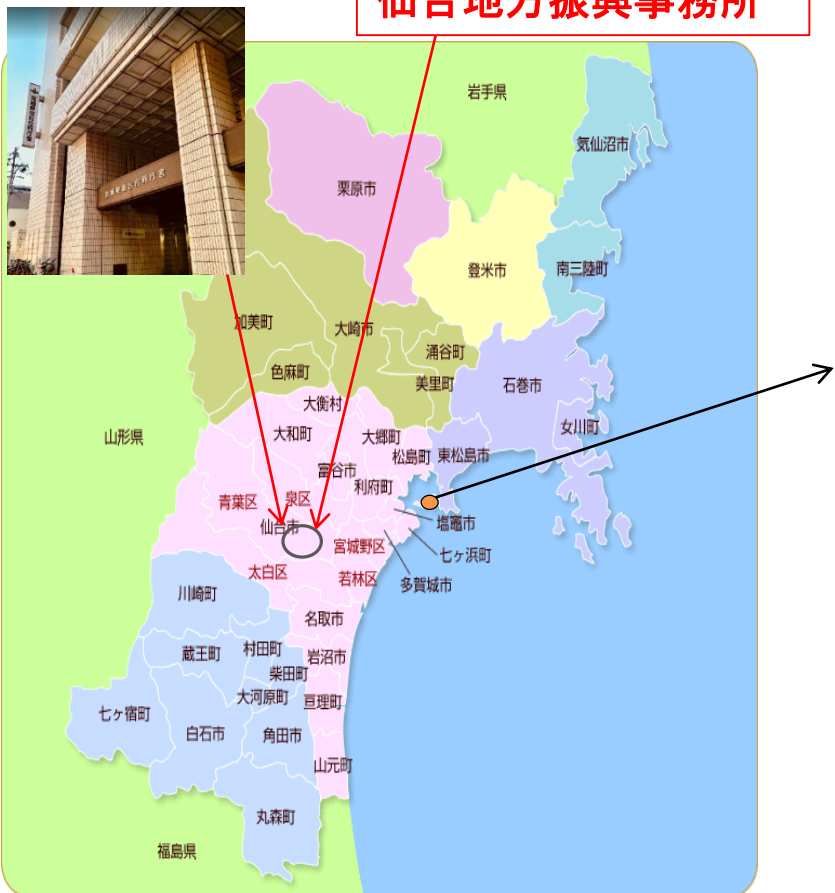
平成30年4月1日～令和2年3月31日

勤務地

宮城県 仙台地方振興事務所
農業農村整備部 農地整備第二班

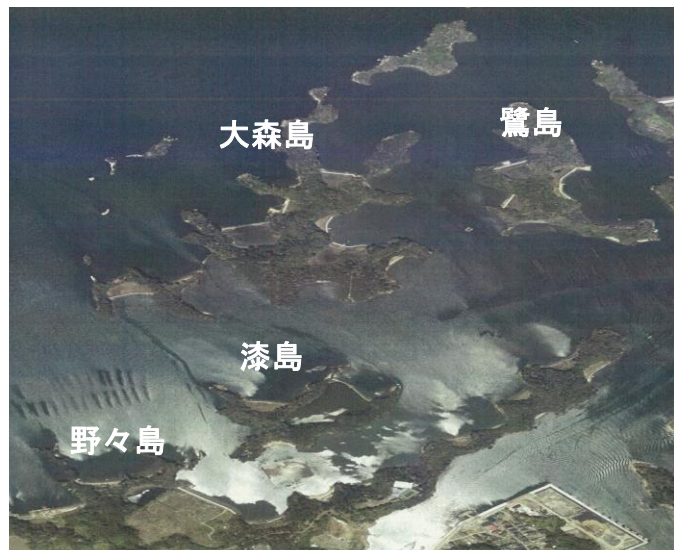
(仙台地方振興事務所管内図)

仙台地方振興事務所



担当工事の実施場所(離島)

塩竈市浦戸諸島



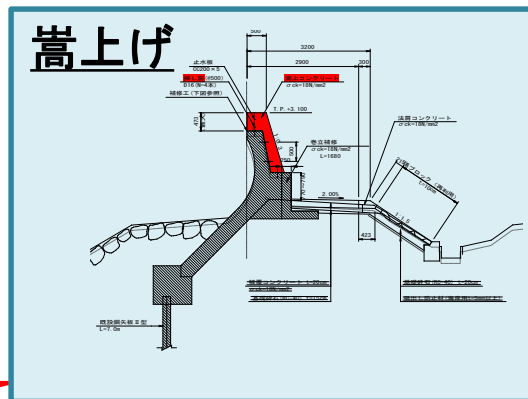
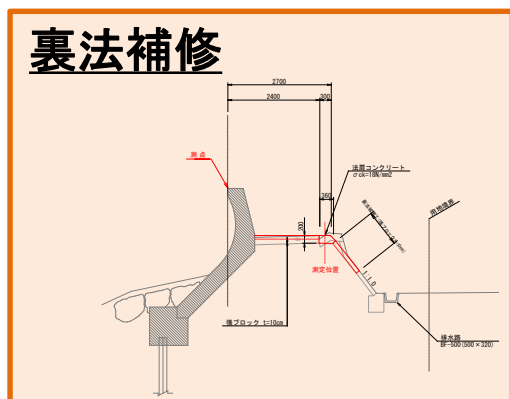
担当業務

- ・離島の農地海岸に係る災害復旧工事の発注・監督
- ・工事に伴う特別名勝松島の現状変更等許可申請 など

2-2.被災地での業務概要



■ H30以降の補修方法について(改修を除く)



防潮堤の設計高さの考え方は宮城県海岸保全区域基本方針に基づき決定する。(背後の利用状況についても考慮し決定)

・浦戸諸島全域が「特別名勝松島」に指定されており、施工時には文化財当局(県文化財課、市教育委員会)と協議を行った。

2-3.被災地での業務概要

仮設道路や水路の復旧

塩竈市有数の農業地帯(寒風沢島)



仮設生コンクリートプラントの撤去(原型復旧)



3. 派遣業務を通しての気づき

宮城県

災害対応 = 膨大な業務量



- ・他県からの派遣の受入
- ・任期付職員の積極採用

課題①

- ・地区毎に担当者を分けたことから、他県の派遣者が戻った際に業務内容を知る人がいなくなる
- ・予算管理や行政的な仕事の経験がない。

課題②

- ・システムの使用方法が異なる

対策案①

従来の事務分担 (地区別に分担)

地区名	I 地区	II 地区	III 地区
業務内容	担当者		
地元協議	A: 県職員	B: 他県職員	C: 任期付職員
設計積算			
予算管理			
工事監督			
申請関係			



県職員が関与しない地区を作らない (経験などに応じて分担を行う)

地区名	I 地区	II 地区	III 地区
業務内容	担当者		
地元協議	A	A+C	
設計積算	A+B		C
予算管理	A+B+C		
工事監督	A	B	C
申請関係	A+B+C		

※業務量が膨大なため、定期的に工事の進捗状況や課題点等を共有する

対策案②

- ・システム説明やマニュアルの作成
事務システム、図面作成、積算システム等

ご静聴ありがとうございました。



宮城蔵王 仙人沢